

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている
 B:おおむね達成できている
 C:やや不十分である
 D:不十分である

学校名 神崎市立千代田中学校

1 前年度 評価結果の概要
 ・保護者アンケートの結果からは本校の教育活動について、おおむね肯定的な評価をいただいた。特に「学校は教育相談週間等でお子さんの悩みや相談に適切に対応していると思いますか」の質問には92.1%の保護者が肯定的な回答であった。しかし、学力向上に関しては県学習状況調査(12月)等の結果から依然として無回答率の高さや記述式の問題への取組に課題があることがわかった。今後、全職員一丸となって、生徒の学力向上に向けて、指導法の改善を行うとともに、学校、家庭、地域と連携しながら役割を明確にして取り組んでいく。

2 学校教育目標
 夢と誇りを持ち 自ら学び行動できる 心身ともに調和のとれた生徒の育成
 ～ Chance Challenge Change ～

- 3 本年度の重点目標
- 1 確かな学力の育成 ～活躍の場と議論の場を設け、自ら学ぶ意欲を育てる学習指導～
 - 2 豊かな心の育成 ～出番・役割・承認による「生徒理解」に基づいたチームでの生徒指導～
 - 3 健やかな体の育成 ～健康や安全の確保に取り組む態度の育成～
 - 4 自主・自立・自律の推進 ～生徒会活動の活性化～
 - 5 学校・家庭・地域との連携 ～学校で学び、家庭でしつけ、地域で育てる協育の構築～
 - 6 教職員の働き方改革～教職員が健康を維持し、やりがいをもって業務遂行できる環境づくり～

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果・検討課題	
				評価	意見や提言			
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。					研究主任
	○活躍の場と議論の場を与え、自ら学ぶ意欲を育てる学習指導	○学習に関するアンケートで「課題解決的な授業を展開するための「めあて」の設定と「めあて」に対応した「振り返り」の工夫」を行った教師90%以上、「授業はよく理解できる」、「授業中わからないところを質問しやす」と回答した生徒90%以上、	・課題解決的な授業を展開するための「めあて」の設定と「目当て」に合わせた「振り返り」の工夫、次時につなげる「振り返り」の工夫、「わからない」教えてと言えぬ授業づくりの改善を図るとともに学級における支持的風土の醸成を図る。また、「わからない」教えてと言った生徒への手立てを工夫する。					研究主任、副主任 教頭
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒75%以上	・人権講演会(人権集会)や道徳に関するアンケートの実施 ・「神崎市4か条の誓い」を具現化した道徳授業の実施					人権教育担当
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・いじめアンケート調査や月ごとの生活アンケート調査を行い、実態の把握に努め、早期対応をする。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に3回以上行う。 ・生徒指導部会、生徒指導協議会等を通して職員間で生徒に関する情報を密に共有する。また、学校での生徒の様子を家庭連絡等で保護者に伝えるだけではなく、アンケートの実施状況や学校で起きていることを積極的に学校外に伝え、可能な限り情報を共有していく。					生徒指導主事 教育相談主任
	○不登校生徒・問題行動への早期対応	○学校生活を起因とする新たな不登校生徒0人を目指す。 ○連絡、報告、相談の迅速対応による問題行動への早期対応ができた回答した教員90%以上	・学校生活を起因とする新たな不登校生徒0を目指し、教育相談習慣の充実、教育相談部会の活性化、SSW、SCの活用、生活支援員による別室登校への支援、関係機関等との連携を深める体制を築く。 ・連絡、報告、相談の迅速対応の生徒指導体制の確立を行う。					生徒指導主事 教育相談主任
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」	②「早寝、早起き、朝ごはん」ができた生徒75%以上	・「早寝、早起き、朝ごはん」を推進するためにPTAと連携し、地区懇談会等で啓発活動を行う。 ・スマホ所持率調査の実施と実態把握によるPTAとの連携 ・生徒集会等を利用して自分の身を守る行動について啓発を行う。 ・学期はじめなどの節目に登校立ち番指導を行う。					安全教育担当 教頭(PTA担当)
	④「安全に関する資質・能力の育成」	④「安全に関する資質・能力の育成」 ④児童生徒の登下校時の交通事故を0(ゼロ)にする	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定と実施 ・業務の効率化に向けた役割分担と分担の随時見直し					教頭 部活動担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。						教頭 部活動担当

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		主な担当者
				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果・検討課題	
評価	意見や提言							
○自主・自立・自律の推進 生徒会担当 特別活動	○活力のある生徒会活動の醸成	○「すみそよあじ(スリッパ並べ・身だしなみ・無言掃除・四か条の誓い・いじめ防止・挨拶・時間)」を実践した生徒の割合90%	・「すみそよあじ」と「かせち条約(礼儀作法、文武両道、思いやり、環境保護、規則厳守、健康管理)」を言葉に各委員会の生徒会活動を充実させる。					生徒指導主事 教頭
○学校・家庭・地域との連携 教務 総合 学年主任	○学校で学び、家庭でしつけ、地域で育てる協育の構築	○土曜開校日等の保護者参加率50%以上 ○ホームページの更新を月2回行い、情報を発信する。	・地域行事やPTA活動への積極的な参加 ・保護者や地域住民が参加しやすい学校行事等の設定 ・地域や関係機関との連携強化 ・総合的な学習の時間を生かした地域を跨れる学校づくり					教頭 学年主任 ボランティア担当
◎志を高める教育	◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒(中学3年生・義務教育学校9年生)90%以上	・全ての教育活動を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。					進路指導主事 特別活動主任 学年主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望
 ・全体を通じて目標をおおむね達成できたと考える。
 ・目標到達が十分達成できていない項目が半数近くあるため、現状分析とともに課題の洗い出しが必要である。
 ・学校内での指導の充実を今後も進めるとともに、学校外との連携を再構築していく必要がある。(保護者や地域、関係団体との連携)